

トピックス **プラス**

10/26

方言を交えた寸劇などで防火を誓う

シルバー火災予防フェスティバルが10月26日、登米祝祭劇場で開催され、65歳以上の市民約900人が参加しました。消防署員による寸劇で、最近多発している住宅用火災警報器の悪質訪問販売の注意を呼び掛け。方言を交えたユーモラスな寸劇に、会場は笑いと拍手が絶えませんでした。そのほか、参加者全員で火災予防宣言を行い防火を誓いました。



▲消防署員が寸劇を披露した火災予防フェスティバル

11/2

市民の目線での市政運営を目指し

市民の声を市政に取り入れ、市民との協働によるまちづくりを目指し設置された市政モニター。その第2回会議が11月2日、市役所迫庁舎で開催され、委員17人が出席しました。市政運営のあり方、広報紙の構成・記事内容などについてを意見交換。そのほか、総合支所の役割や子育て支援、小児医療体制など、活発な意見が交わされました。



▲委員から活発な意見が交わされた市政モニター会議

11/12

平筒沼の自然や生態系を親子で学ぶ

親子ネイチャースクール（平筒沼自然観察会）が11月12日、米山町の平筒沼で行われ、市内の親子10組が参加しました。午前には沼の自然林・野鳥観察を体験。沼に生息するカモやアヒルの生態形などを学びました。午後からは、クラフトワークとしてアヒルの鳴き声が出る竹笛作りに挑戦し、子どもたちは出来栄に満足して音を鳴らしていました。



▲沼の自然林や野鳥観察などを体験しました

11/18

登米市の食と農の豊かさを再発見

地産地消推進のつどいが11月18日、ホテルサンシャイン佐沼で開催されました。市内の生産者や流通関係者、一般住民ら約230人が参加。食に関する講演会や事例発表が行われました。試食会では、牛にぎりすしやステーキなどの市内産牛を中心とした創作料理、米粉ビスケットなどの加工食品が振る舞われ、参加者は登米市の味を満喫しました。



▲市内産食材を使った創作料理を試食する参加者

**団 中田で「なかだの秋まつり」
結で巨大カップ巻きが完成**

「第20回なかだの秋まつり」が11月4、5日の両日、市役所中田庁舎を主会場に開催されました。2日間とも天候に恵まれ、農業祭・文化祭・菊花盆栽展などに市内外から約13,500人が訪れました。「101 $\frac{1}{2}$ （実測直線101.7m）のみんなでカップ巻・長さに挑戦！」には、200人以上の親子連れらが参加。参加者全員が団結して巨大カップ巻きを見事完成させ、おいしく食べました。また、乗馬体験や野外ステージ、出店テントなどのイベントコーナーも多数設けられ、大勢の来場者でにぎわった2日間となりました。

▲長さ101 $\frac{1}{2}$ mのカップ巻きを参加者全員が団結して完成させました**ふれあいで命の尊さを学ぶ**

豊里で動物ふれあい教室

動物ふれあい教室（県登米保健所、県動物愛護センター、市主催）が11月7日、豊里幼稚園で行われ、園児ら110人が参加しました。動物とのふれあいを通じ、接し方、命の尊さ、愛護心などを学んでもらおうと開催。園児たちはウサギなどの正しい接し方の説明を聞いた後、子犬やウサギなどをさわったり、抱いたりして動物の温かさや柔らかさを感じました。園児たちは「子犬のしっぽをさわったら顔をたくさんめられた」、「ウサギの耳がとても大きいのにびっくりした」などと喜んで話していました。



▲子犬やウサギなどの動物とふれあった園児たち

**2 石越で「まるごといしこしまつり」
の大鍋に千人芋煮汁**

「まるごといしこしまつり（同実行委員会主催）」が11月5日、チャチャワールドいしこで開催されました。園内の乗り物や遊具で遊びながら、祭りも楽しめるとあって、市内外から約3,200人が来場。石越牛の試食販売コーナーや、リサイクルチャリティーバザー、バンド、和太鼓などのステージ演奏など、さまざまなイベントが催されました。また、祭りの目玉の直径2 $\frac{1}{2}$ mの大鍋を使った「千人芋煮鍋」は、長蛇の列ができるほどの盛況ぶりで、用意された千人分の芋煮汁は、瞬く間に完食となりました。

▲直径2 $\frac{1}{2}$ mの大鍋で作った芋煮汁は瞬く間に完食となりました